

2022年3月17日

各位

株式会社北洋銀行
株式会社日本政策金融公庫札幌支店

産業間の人材マッチングへの取組みが 内閣府特命担当大臣(地方創生担当)の表彰を受けました

北洋銀行、日本政策金融公庫札幌支店(以下、日本公庫)、北海道経済産業局が連携して行う地域活性化の取組みが、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局(以下、内閣官房)が認定する「地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に採択され、内閣府特命担当大臣(地方創生担当)より表彰を受けました。当行の受賞は4年連続5回目となります。

今後も、地域事業者のニーズに寄り添い、人材マッチングの支援等を通じて労働力不足を解消し、地域の持続的発展に貢献してまいります。

1. 特徴的な取組事例とは

金融機関等の地方創生の取組事例のうち、地方公共団体等と連携している事例や先駆性のある事例を内閣府特命担当大臣が「特徴的な取組事例」として表彰するものです。

地方創生に係る具体的事業を本格的に推進していく上での参考事例として、内閣官房のホームページにも掲載されました。

ご参照：<https://www.chisou.go.jp/sousei/meeting/kinyu/jirei.html>

2. 表彰された取組事例

「北海道経済産業局と連携した産業間の人材マッチング事業」

※詳細は別添の資料をご参照ください。

【地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」表彰式(2022年3月16日)】



左画面:野田 聖子内閣府特命担当大臣、右画面:副頭取 竹内 巖

※表彰式はオンラインで実施しました。

以上



北洋銀行グループは、2018年12月「北洋SDGs宣言」を表明し、地域の持続的成長支援と社会的課題の解決に取り組んでおります。なお、SDGsに関連するプレスリリースには、該当するSDGsのアイコンを明示しております。
【SDGs】2015年の国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17のゴールと169のターゲットで構成される。

■産業間の人材マッチング事業の取組概要



■説明

この取組みは新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、従業員の雇用維持に苦慮する産業と人手不足に悩む産業において、産業間における「労働力」を融通し合い「雇用維持」と「人手不足」双方の課題の同時解決を目的として2020年5月より取組みを開始しました。

当行は日本公庫ともに、受入企業・送出企業の双方からマッチング参加申込みを受付け、その情報をもとに北海道経済産業局が企業の希望する条件等から組み合わせを考えマッチングを実施します。2021年度からは産業雇用安定センターとの連携により、マッチング先を拡充しています。

2020年度は延べ30社(送出側12社、受入側18社)20組のマッチング交渉を行い、3組(19名)が契約に至り、2021年度は延べ24社(送出側9社、受入側15社)15組のマッチング交渉を行い、2組(5名)が契約に至りました(2022年2月末時点)。